

もし『グレート・ギャツビー』という小説に巡り
会わなかったなら、僕は今とは違う小説を
書いていたような気がする。――村上春樹

春樹版グレート・ギャツビーが出た。これを機会に、はじめの数ページで挫折した原書をあわせて読むことにした。もっともわたしの英語力では単に音読したといふだけのことが、丁寧になぞったおかげで思わぬ発見を三つばかりした。

まず一つ目は第三章の終わりのニクとジョーダンとの車の運転についてのもやりの部分。これは、ジョーダンとの恋人のなかの八つ年上の女性との金沢のホテルでのエピソードに影響をあてている。房事でのジョーダンとは会話はない人には有益ななしだ。

二番目は第五章のギャツビーがニクの庭の芝生を刈らせるところ。『午後最後の芝生』を読んだときに感じる村上春樹は芝生をきれいに刈り揃えるのが好きなんだ。はギャツビーゆずりだということがわかってうれしい。

第三は、『今は七き王女のための』冒頭の大事に育てあげられ、その結果とりかえしのつかなくなるまでスポイルされた美しい少女にはギャツビーが愛したデイヴィスと同質なところがあふし、その結末はデイヴィスにもふさわしいものだと思う。

この三点についてはだれかが既にどこかで書いていふことも多いが、わたしは、強付会かもしれないが、独力で気がついたので、いまはとも幸福な気分になりそう。

グレート・ギャツビーは独立したすぐれた物語だが、村上春樹の源流をさかのぼる気分で読むと、読者にはたま

2 中国行きのスロウ・ボート所収

3 回転木馬のデッドヒー ト所収

4 なお、少女は石川県かどとかそのあたりの江戸時代からつづいている旅館の娘という設定。

「とりませんでした」

本人は「脳がヘリソ」とか言っていてまわりばかりが大騒ぎしていたノール賞。別にとてもとらなくてもあんまりかわらなそうなのが村上さんのいいところ。でも、もし受賞しなればリコナー作らなくちゃ」と調べたデータがこれ。2006年村上春樹売上ベスト5(ながた調べ)

①海辺のカフカ ダントツでした。やっほり

文庫版
 661
 トニクの
 1「スプー
 ー」
 と思う。
 (史)
 手帳なるギンペー

 Robert Radford
 Mia Farrow

最近、しばらくぶりに
会う人からよく、「太った
？」と聞かれるようになった。
自覚は無いのだが、確
かに昔のような全疾
走はもう無理だ。その
せいか夢で子どもの運動
会に参加して転ぶ夢を
見た。夢といえども、な
んとなく現実味がまし
ている。よくてふと目に
とまったのが、お父さん
はなぜ運動会で転ぶの
か？。転ぶは肉体的、
心理的な様々な要因
が重なっているらしい。
自分では明らかに心理的
要因であろう。走る前
は自信があるのだが、走

転ばぬ先の読書

カフカ賞が大きかったの
しょうか。

②ノルウェイの森
期間がなければ物理的
に一番売れている村上作
品がこれ

③神の子たちはみな踊る
ちよと意外？個人的に
好きでけっこうカいれて
売ってたからかも

④アフターダーク
一番新しい文庫。これが一
位とかにならないうてけ
っこうすごいかも

⑤世界の終わりとハー
ドボイルドワンダーランド
初期の傑作がまだこん
なに売れているなんて……
以上。翻訳もいいんた
けどやっぱり新刊がはや
くよみたい！ど！

(海)

望校に合格、というあれです。学生の頃は時間がありあまっていたので別に無理して速く読まなくても、と思つて氣づけば社会人。最近ではそんな広告の載つてゐる雑誌を読む暇もない自分に氣づき(本屋なのに)、さらに学生時代以上に本を読む必要性を痛感する曰々(本屋ですから)。本書は「速読は多読のためのスキルであり、多くの本を読むことはフランスのとれた価値観を養うために欠かせない」という理屈から、「左手めぐり」、「目のたすき」

考書もあつという間に読
破！絶対無理だった志

り出したら自信がなくなる。やはり普段からの運動は重要だ。
ツョギングはやはりキツイから歩くことから始めたい。話題のロングセラー『医師がすすめるウォーキング』がお薦めである。この本はどちらかと言うと、スポーツより健康について書いてあるが、健康あてこど走れるのである。
さあ、明日から、数年後に全力疾走しても転ばぬよう、歩くぞ! (倉)

「速読」というとマンガ雑誌流の胡散臭い広告

斉藤孝速読に進出

一方で棋士の書いた本は
 売行がよい。たとえば羽生の
 『決断力』や『先を読む頭脳』
 は思考力の鍛練に、棋士
 の魂は人間性の魅力で、
 将棋愛好者以外に読者
 を広げている。他にも中原
 誠や二上達也のモノは田舎
 の極みといふことで動きがよ
 い。

これだけ棋士の本が必要
 があるのだから何とか将棋
 人口の回復に繋がらないも
 のかと一文をします。

羽生善治

(川)

といわれるほど将棋人口が減
っている。どういふ理由で将棋入
門の本の売行がこんなしくな

レーニング「等実践的？」手法まで幅広く解説。「読書とは、著者が自分のためだけに時間をさいてくれるとても贅沢な時間」と結びます。本は読みにくいけど時間がない！と嘆いている私のようなあなた（注：本屋は忙しい）の読者の第一歩として、斎藤先生の「速読塾」を。④

将棋の本より棋士の本

将棋連盟から女流棋士会が独立するという喜ばしい。だが実のところは将棋連盟側の苦しい台所事情がある。

羽生三冠が七冠に輝いた九六年と比較すると三割減



